



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社 コメ兵ホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 2780 URL <https://komehyohds.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 卓児
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長 (氏名) 吉田 浩之 TEL 052-249-5366
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年11月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイト動画掲載）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	69,447	31.6	3,126	△2.6	3,069	△6.2	1,961	△8.2
2024年3月期中間期	52,764	34.5	3,210	84.1	3,271	91.4	2,137	95.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,696百万円（7.3%） 2024年3月期中間期 2,512百万円（63.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	178.98	—
2024年3月期中間期	195.05	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	74,707	30,913	40.9
2024年3月期	64,039	28,770	44.4

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 30,521百万円 2024年3月期 28,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	44.00	—	44.00	88.00
2025年3月期	—	52.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	52.00	104.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,500	21.0	8,470	13.6	8,400	12.3	5,560	10.6	507.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	11,257,000株	2024年3月期	11,257,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	297,777株	2024年3月期	300,715株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	10,957,375株	2024年3月期中間期	10,956,360株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料等の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。また、当社は、2024年11月14日11時に機関投資家、アナリスト向けの合同決算説明会をZOOMウェビナーでのライブ配信にて開催し、録画動画は後日当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、2024年3月に日本銀行がマイナス金利政策を解除し、17年ぶりに金利を引き上げたことや、6月に実質賃金が27ヶ月ぶりにプラスになるなど、長らく続いたデフレから、物価と賃金が上昇する好循環への転換が進みつつあります。

一方で、7月末に日本銀行が追加利上げを実施し、日米の金利差が縮小したこと等により為替が大きく円高に振れ、株価も急激に変動するなど、足元の金融市場は不安定な状況が続いております。

リユース業界においては、持続可能な社会の実現に向けた動きとそれに伴うリユースへの意識の高まりを背景に、引き続き市場全体が拡大しております。また、サービスやチャネルの増加に加え、業界再編によるM&Aの活性化、新規参入の企業も多いことから、買取・販売競争は激化の一途を辿っております。ブランドリユースにおいては為替変動の影響を受けて、高額の時計及びブランドバッグを中心に、商品相場が軟調に推移いたしました。

当社グループは、「つくる人に敬意をもち、つなぐ人に感謝し、手にする人に感動を提供することで、循環型社会の共感を創っていきます」をMISSION(存在意義)に掲げております。このMISSIONのもと、国内外で健全なリユース市場の形成に寄与するとともに、多くの方に“リユースは身近で便利なもの”と感じていただける取り組みを推進し、VISION(目指す姿)である「リユースを『思想』から『文化』にする」の実現を目指します。

こうした考えのもと、グループ全体でVISIONの達成に向け取り組んだ結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は69,447百万円(前年同期比31.6%増)で増収となりました。ブランド・ファッション事業では、株式会社コメ兵及び株式会社K-ブランドオフは過去最高売上高を達成するなど売上が伸長いたしました。また、タイヤ・ホイール事業では、ホイール価格改定前の特需によるタイヤ・ホイールのセット販売、自社企画ホイールの国内外での販売が好調に推移いたしました。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益については、営業利益は3,126百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益は3,069百万円(前年同期比6.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,961百万円(前年同期比8.2%減)と、いずれも減益となりました。

2028年3月期までの中期経営計画では、成長戦略の1つに「M&Aによる事業拡大」を打ち出しております。その一環で、ブランド・ファッション事業の拡大を目的として、2024年10月23日に当社が株式会社アールケイエンタープライズ及びその子会社であるRODEO DRIVE JAPAN CO. LIMITEDの株式を取得し、11月1日に当社の連結子会社である株式会社コメ兵が株式会社Rs-JAPANの株式を取得いたしました。なお、2025年2月1日に、株式会社コメ兵を存続会社とし、株式会社Rs-JAPANを消滅会社とする吸収合併を行う予定であります。

連結業績 (単位：百万円)	前中間連結会計期間 (2024年3月期)	当中間連結会計期間 (2025年3月期)	前年同中間期比 増減率	前年同中間期比 増減額
売上高	52,764	69,447	31.6%	16,683
営業利益	3,210	3,126	△2.6%	△83
経常利益	3,271	3,069	△6.2%	△201
親会社株主に帰属 する中間純利益	2,137	1,961	△8.2%	△175

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ブランド・ファッション事業

ブランド・ファッション事業は、国内のグループ会社では、株式会社コメ兵で商品編集型の販売店舗であるKOMEHYO名古屋本店BAG+ (バッグプラス) 及びKOMEHYOららぼーと愛知東郷などの買取併設店3店舗に加え、買取専門店舗を15店舗出店いたしました。株式会社K-ブランドオフでは買取専門店舗(FC加盟店舗含む)を11店舗出店いたしました。また、海外のグループ会社では、販売店舗をSAHA KOMEHYO COMPANY LIMITED (タイ) で1店舗、KOMEHYO SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール) で1店舗、KOMEHYO BRAND OFF ASIA LIMITED (香港) で2店舗を出店いたしました。

中古品仕入高については、株式会社コメ兵では「安心できる“いつもの”“近くの”場所での買取」をコンセプトとしたイベント買取や買取専門店舗の新規出店等を積極的に行ったことに加え、プロモーション強化やキャンペーンにより既存店の強化を図りました。また、小売店舗の品ぞろえを充実させるために、個人買取では人気商品を中心に踏み込んだ買取価格を提示して買切り、法人仕入れも積極的に活用いたしました。

販売については、ECとコンタクトセンターを起点としたオンラインでの接点強化、訪日外国人を含めた来店者数の増加に対応するための店舗在庫の充実、お客さまとの関係性を深める施策及び国内外で複数のブランドオフ屋号

の小売店舗の改装を実施いたしました。また、個人買取が好調に推移したことにより、小売り向け商品を充実させ、たうえで法人販売を強化するとともに、株式会社KOMEHYOオークションと株式会社K-ブランドオフそれぞれが運営する法人向けオークションを強化いたしました。

利益面については、8月からの一部商品の相場変動に対応し、在庫の流動化を図るため、法人販売を活用いたしました結果、売上総利益率が低下し、販売費及び一般管理費を計画通りコントロールしたものの、営業利益率も低下いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当セグメント売上高は67,229百万円(前年同期比32.3%増)、営業利益は2,962百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

② タイヤ・ホイール事業

タイヤ、ホイール及びカスタム用パーツの販売については、メーカー各社のホイール価格改定に伴いタイヤ・ホイールのセット販売及び自社企画ホイールの国内外での販売が好調に推移いたしました。また、個人買取好調により潤沢な在庫を確保することで中古売上高が増加し、利益率が改善いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の当セグメント売上高は2,194百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益は29百万円(前年同期は6百万円の営業損失)となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、店舗の賃貸管理の他、グループ会社の主要な店舗をグループ会社に賃貸しております。

当中間連結会計期間の当セグメント売上高は175百万円(前年同期比22.5%増)、営業利益は58百万円(前年同期比35.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は74,707百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,667百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金263百万円、売掛金497百万円、棚卸資産7,885百万円、流動資産その他(未収金他)121百万円、建物及び構築物(純額)458百万円、有形固定資産その他(純額)202百万円、リース資産(無形固定資産)816百万円、無形固定資産その他(ソフトウェア他)230百万円並びに投資その他の資産171百万円の増加によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は43,794百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,524百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金2,478百万円、未払法人税等372百万円及び賞与引当金142百万円の減少を、買掛金907百万円、短期借入金9,292百万円、リース債務(流動負債)306百万円、未払金256百万円、長期借入金152百万円、リース債務(固定)572百万円及び資産除去債務103百万円の増加が上回ったことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は30,913百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,143百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益1,961百万円の計上に加え、為替換算調整勘定626百万円の増加が剰余金の配当482百万円を上回ったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.9%(前連結会計年度末は44.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想については、2024年8月13日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

① 連結業績予想

連結業績予想	2025年3月期 通期 (単位：百万円)
売上高	144,500
営業利益	8,470
経常利益	8,400
親会社株主に帰属する当期純利益	5,560

②配当予想

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期	44円00銭	44円00銭	88円00銭
2025年3月期	52円00銭	—	—
2025年3月期(予想)	—	52円00銭	104円00銭

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,208,866	15,472,047
売掛金	3,917,182	4,414,556
棚卸資産	24,353,155	32,238,621
その他	6,447,695	6,569,269
流動資産合計	49,926,900	58,694,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,619,444	5,077,646
土地	1,644,961	1,644,961
建設仮勘定	156,906	121,311
その他(純額)	1,048,097	1,250,129
有形固定資産合計	7,469,408	8,094,048
無形固定資産		
のれん	449,586	506,404
リース資産	752,061	1,569,047
その他	1,669,547	1,899,976
無形固定資産合計	2,871,194	3,975,428
投資その他の資産	3,771,971	3,943,483
固定資産合計	14,112,574	16,012,961
資産合計	64,039,475	74,707,455
負債の部		
流動負債		
買掛金	870,728	1,778,148
短期借入金	19,154,400	28,447,300
1年内償還予定の社債	72,000	72,000
1年内返済予定の長期借入金	2,788,170	310,150
リース債務	395,098	701,914
未払金	1,428,784	1,685,679
未払法人税等	1,442,075	1,069,426
契約負債	463,476	402,589
賞与引当金	1,198,397	1,055,703
商品保証引当金	10,417	10,111
ポイント引当金	102,088	112,113
その他	510,418	406,106
流動負債合計	28,436,056	36,051,242
固定負債		
社債	68,000	32,000
長期借入金	4,825,000	4,977,000
リース債務	431,281	1,003,501
役員退職慰労引当金	23,598	23,598
商品保証引当金	610	694
ポイント引当金	177,879	227,633
退職給付に係る負債	126,063	135,057
資産除去債務	953,440	1,056,567
契約負債	115,816	142,855
その他	111,726	144,004
固定負債合計	6,833,416	7,742,913
負債合計	35,269,473	43,794,156

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,803,780	1,803,780
資本剰余金	1,909,872	1,922,750
利益剰余金	24,013,796	25,492,841
自己株式	△80,858	△80,620
株主資本合計	27,646,589	29,138,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,056	64,219
為替換算調整勘定	691,836	1,318,586
その他の包括利益累計額合計	758,892	1,382,805
非支配株主持分	364,519	391,742
純資産合計	28,770,002	30,913,299
負債純資産合計	64,039,475	74,707,455

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	52,764,117	69,447,459
売上原価	39,472,694	53,100,636
売上総利益	13,291,422	16,346,823
販売費及び一般管理費	10,080,807	13,220,127
営業利益	3,210,615	3,126,695
営業外収益		
受取利息	8,045	7,555
受取配当金	11,510	18,760
為替差益	53,861	—
受取手数料	2,284	2,093
受取保険金	3,907	10,504
その他	22,185	19,982
営業外収益合計	101,794	58,896
営業外費用		
支払利息	32,046	95,431
為替差損	—	11,599
開店前店舗賃料	4,610	2,510
その他	4,687	6,590
営業外費用合計	41,345	116,131
経常利益	3,271,064	3,069,460
特別利益		
固定資産売却益	823	1,993
特別利益合計	823	1,993
特別損失		
固定資産除却損	26,454	55,952
貸借契約解約損	542	5,999
減損損失	39,643	—
特別損失合計	66,639	61,951
税金等調整前中間純利益	3,205,247	3,009,502
法人税等	1,057,131	1,039,427
中間純利益	2,148,115	1,970,074
非支配株主に帰属する中間純利益	11,046	8,952
親会社株主に帰属する中間純利益	2,137,069	1,961,121

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	2,148,115	1,970,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,618	△2,836
為替換算調整勘定	344,810	729,231
その他の包括利益合計	364,428	726,394
中間包括利益	2,512,544	2,696,468
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,478,729	2,666,816
非支配株主に係る中間包括利益	33,814	29,652

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、当該法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。